

2022年5月3日

株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第1戦 決勝上位コメント

■ 第1戦 決勝1位 三井優介【#7 HFDP RACING TEAM】



「結果的にF4のデビューレースで優勝できて嬉しいことは嬉しいですけど、実際はトップを走っていた伊東選手に負けてしまっているわけですから。そこはペース差がなかっただけに悔しいですね。抜くまでの余裕はなくて、展開的にも無難にまとめて終わったというレースでした。まだまだ至らないところがあると思います。また、表彰台をHFDP勢で占められなかったことも悔しかったです。予選も今回は、攻めきれず保守的でした。今回の優勝は決して実力ではないので、次は自分でこじ開けて実力で優勝を狙いたいです」

■ 第1戦 決勝2位 岩澤優吾【#97 BJ Racing F110】



「去年はレースではトップとあまり差がないペースで走っていたのに、予選で良いポジションを獲得できなかったのが課題でした。今回も予選は赤旗があった影響もあってうまくまとめることができなかったのですが、決勝で展開に恵まれて2位まで浮上できて、その後は自信を持って走ることができました。やっと表彰台に上がることができて、一応は良かったと思います。でも伊東（黎明）選手とはFJ時代にも戦っていて、その時は自分がチャンピオンを獲っているのに、まだ伊東選手に一步遅れていると感じています。次はもっと良い成績が残せるように頑張ります」

■ 第1戦 決勝3位 伊東黎明【#80 OTG DL F4CHALLENGE】



「スタート位置の違反は正直、恥ずべきミスです。少し前かなという意識があった時点で、安全策を採るべきでした。3番手からスタートする明日（第2戦）の決勝は気持ちをしっかり切り替えて、今日のレースペースの良さを活かして今度こそ優勝してみせます。去年は予選が良くてもレースペースに課題があったので、オフの間にしっかりとセッティングを含めロングのペース作りに取り組んできました。HFDPの（#7三井優介）選手を最後まで抑え切れたのは、その成果だと思います」

■ 第1戦 インディペンデントカップ優勝 鳥羽 豊【#63 HELM MOTORSPORTS F110】



「スタートで大きく出遅れてしまったのですが、そこからなんとか挽回できて、その後も接触のアクシデントもありましたが、無事レースが終えられて優勝できたので嬉しいです。接触の後はアンダー（ステア）が強くなってペースは少ししんどかったのですが、なんとか切り切れました。去年チャンピオン争いを経験して、とにかく1戦1戦を確実に戦っていくことが大事だと感じました。その結果としてチャンピオンシップに繋がればベストかなと思っています。今年も強いライバルがひしめいているので、1戦1戦ベストを尽くし謙虚に戦っていきます」